

# あきた牛飼い塾通信

平成 24 年 11 月 1 日発行

編集協力：秋田県

発行：社団法人 秋田県農業公社

1 ページ 全国和牛能力共進会

4 ページ 試験場情報

3 ページ 塾生の輪 千葉一輝さん

6 ページ 今後の牛飼い塾の予定

## 祝 県産牛全共 2 位を受賞！

～「義平福」の評価高まる～



第10回全国和牛能力共進会  
**和牛維新！**  
地域で伸ばそう生産力 華ごう豊かな食文化  
平成24年10月25日～29日 於 長崎県



10月25日から29日まで、長崎県で開催された「第10回全国和牛能力共進会」（8区）で、県有種雄牛「義平福」を父とする県有種雄牛が2位を受賞しました。

これは、秋田県の成績としては過去最高の成績であり、受賞理由として、枝肉重量やサシも含めて評価されたものです。

今回受賞した3頭については、19組57頭の出陳の中の2位という栄誉です。

### 【県担当者のコメント】

共進会全体を通して、九州勢の実力には本当に驚かされました。その中で、「義平福」は、持っている能力を充分に発揮し、1位の長崎県とは本当にわずかな差であったと思います。今回の結果で、会場内でも全国の様々な方から問い合わせが殺到する等、注目される種雄牛となりました。県内の肉牛生産者の皆様には自信を持って利用して欲しいと思います。

○ 8 区優等 2 席受賞牛の枝肉成績

と畜 前 体重 (kg)	枝肉 重量 (kg)	ロース 芯 面積 (cm)	バラ の 厚さ (cm)	皮下 脂肪 厚 (cm)	歩 留	BMS No.	光の 色沢		しまり きめ		脂肪 色沢		歩 留 等 級	肉 質 当 級
							肉 色	光 沢	し ま り	き め	色	光 沢		
691	423.9	59	7.8	1.4	75.7	7	4		4		5		A	4
							4	4	4	4	3	5		
745	483.5	66	8.5	2.3	75.5	10	5		5		5		A	5
							3	5	5	5	3	5		
748	496.7	57	8.7	3.0	73.7	8	5		5		5		A	5
							4	5	5	5	3	5		

○第 8 区の優等賞受賞県

順位	1	2	3	4	5	6	7	8
道府県	長崎県	秋田県	岐阜県	岡山県	宮崎県	鹿児島県	青森県	北海道
種雄牛	福姫晴	義平福	若光清 85	盛利姫	天奨藤	金吉幸	安平勝 2	北斗王

○本県関係の成績

本県では、7 区から 8 人（団体）が受賞をされました。これまでの出陳牛への注いでこられた関係者の皆様方の熱意に敬意を表します。

区分	等級	席	受賞者名
第 1 区	1 等賞	4 席	秋田県畜産試験場
第 2 区	1 等賞	10 席	佐藤久一
第 3 区	2 等賞	1 席	小松久平
第 5 区	2 等賞	1 席	仙北支所 高橋幸誠、相馬勲、高橋博志、田口春美
第 6 区	2 等賞	2 席	秋田しんせい農協和牛部会 荘野高光、大場明、大場明
第 8 区	優等賞	2 席	義平福 伊藤則夫、板垣幸三、高橋長寿
第 9 区	1 等賞		松昭秀 佐藤金市
	2 等賞		堅義 伊藤則夫

**受賞された皆様、おめでとうございます！**

## 塾生の輪

### 親子3代での肉用牛一貫経営を実践！

羽後町

ちば かずき

千葉 一輝 さん(25歳)

#### ●経営概況

繁殖牛	31頭
育成牛	15頭
肥育牛	38頭
水稲	330a
稲WCS	200a
西瓜	220a



県内陸南部に位置する羽後町で、親子3代で肉用牛一貫経営を営む千葉一輝さんを訪問して、お話を伺いました。

Q 就農して2年が過ぎましたが、就農した感想をお聞かせください。

就農する前から、牛の世話の手伝いをしていましたが、実際に就農して1年目は、分からないことも多く、父に聞いたり、繁殖農家の先輩方に通ったりして、大変でした。しかし、同時にやりがいのある仕事だと感じました。

Q 一輝さんは、繁殖部門を担っていますが、どのような繁殖管理を心がけておりますか？

超早期離乳方式で、子牛は生後すぐに母牛から離します。そして、一週間ほどで、哺乳ロボットによる育成を開始して、約90日くらいまで飼養します。

一貫経営ですので、自分の家の肥育部門の方針に合った肥育素牛を供給できるように心がけたいと思っております。

また、昨年、人工授精師の資格を取得したので、繁殖管理の基本に忠実に取り組み、繁殖成績がよくなるよう努力をしているところです。

Q 将来の夢を教えてください。

今は、自分の担当である繁殖部門を確立できるように頑張りたいです。いずれ、家の経営を担うことになるので、一貫経営のメリットを最大限活かして、肉用牛経営に励みたいです。



# 草地の簡易更新技術について

秋田県畜産試験場

主任研究員 佐藤寛子

## 1. 簡易更新法の概要

草地の更新方法はプラウで全面耕起して播種する完全更新法と簡易な表層処理をして播種する簡易更新法とに分類されます。更新方法の種類について表1に示し、それぞれの簡易更新法の概要を紹介します。

更新方法		主な作業機械例
1 完全更新法	: 全面耕起して播種する方法	プラウ
2 簡易更新法	: 全面耕起しないで播種する方法	
(1) 表層攪拌法	: 表層を攪拌して播種する方法	ディスクハロー、ロータリーハロー
(2) 作耕法	: 作耕して播種する方法	オーバーシーダ、ハーバーマツ、シードマチック、パスチャードリル、グレートプレーン
(3) 穿孔法	: 地表に穴を開けて播種する方法	グランドホッグ
(4) 部分耕耘法	: 部分的に耕耘して播種する方法	ニプロ
(5) 不耕起法	: 機械処理をしないで播種する方法	蹄耕法、マクロシードペレット

草地の簡易更新マニュアル H17 北海道農政部

- (1) 表層攪拌法は、ディスクハロー、ロータリーハローなどにより攪拌・砕土して播種床造成を行い播種する方法です。他の簡易更新法に比べて土壌の物理性や化学性の改善効果が大きい反面、労力とコストは他の簡易更新法よりも多くかかります。
- (2) 作耕法は、草地の表層部（数センチ程度）をナイフ（タイン、ブレード）やディスク（コールド）により切断して切り溝を作りこの中に播種を行うもので、簡易更新法の中では最も時間当たり処理面積は大きいですが、作溝と播種のみで土壌を攪拌しないので物理性や化学性の改善はほとんど無い更新法です。
- (3) 穿孔法の作業機械としてはグランドホッグがあります。傾斜がきつい、石礫が多いなど耕起が困難な草地でも実施が可能で、単純な機械構造なので故障が少なく、施工深度が7～10cm程度なので土壌物理性の改善も期待できるなどの利点もあります。グリホサート系除草剤（ラウンドアップハイロードなど）を播種10日以上前に散布することにより雑草を抑えることは可能ですが、施工深度が深いため地中の雑草種子を発芽させることになるのでその対応が必要になります。
- (4) 部分耕耘法の作業機としてはニプロがあり、生研機構（現生研センター）で技術開発されたもので、草地に幅5cm、深さ10cmの溝を27cm間隔です。じ状に切り、その溝に施肥・播種・覆土・鎮圧の各作業を同時に行う機械

## 試験場情報

で、高密度に播種牧草が定着します。しかし、草地表面に凹凸や石礫があったり、モア等で草刈り機で刈り払い出来ないような草丈の短い草が密生している草地には適用しません。

(5) 不耕起法には、家畜による蹄耕法や化成肥料に澱粉糊で牧草の種子をまぶしたマクロシードペレットを利用した方法などがあります。

### 2. 県内草地での簡易更新事例の紹介

(1) 畜産試験場では、グラントホックを利用した追播作業を実施しています



写真1 畜産試験場内の草地で作業する  
グラントホック

(2) 2010年9月には県南部にある草地に於いて作溝法の作業機械の一つであるグレートプレインの実演が行われました。

写真2 (右)  
グレートプレイン  
2010年9月2日に播種作業を実施



写真3 (左下) 2010年9月24日に撮影した草地の様子

写真4 (右) 2012年5月29日に撮影した草地の様子



以上、簡易更新法の概要と実施事例の紹介をしましたが、実際に施工する場合は、既存植生や土壌環境を含めた施工条件、施工時期、除草剤処理、草種・品種の選択等について考慮して行って下さい。畜産試験場でも、今後、牧草も含めた飼料作物に対応した簡易播種技術の実証試験について検討を行う予定です。

## お知らせ

### あきた牛飼い塾の行事予定

昨年に引き続き、「あきた牛飼い塾」では、塾生の資質の向上と人的ネットワークの構築を目標に各種行事を開催いたします。

#### ●「総合研修会」のお知らせ

日時：平成24年11月29日（木）14時～ 30日（金）11時30分

会場：秋田県青少年交流施設「ユースパル」

第1日目（会場：ユースパル）

- ① 子牛の育成について（仮題）
- ② 全共の結果と「義平福」の今後の方向性
- ③ 青色申告のすすめ

第2日目（会場：秋田県畜産試験場）

- ④ 現地研修 県有種雄牛「義平福」の視察

\*近日中にお知らせ致しますので、ふるってご参加下さい。

## 編集後記

第10回全国和牛能力共進会が終了しましたが、「義平福」の全国第2位の成績に畜産関係者ほか、秋田県全体に勇気と希望を与える朗報となりました。

11月29日から30日にかけての宿泊研修では、この朗報を塾生のみなさんの経営につなげるように研修を企画していますので、ご参加をお待ちしております。

話は変わって、南部牛追い唄の牛は、三陸から鹿角地方へ塩を運搬した牛が唄になっているようです。

あの牛たちのように地道な積み重ねで目的へ向かう気持ちを忘れずに頑張りたいものだと改めて思った今日この頃です。（牧）

